

提案概要

的場池公園内施設（的場池体育館、的場池球場、的場池弓道場）

団体名：株式会社スピナ

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
基本理念：地域の「元気」実現への貢献 当社の「地域貢献」の精神に則り、本施設での活動を通じて地域を元気にすることで、本市計画の達成に寄与する。 基本方針1：スポーツ・文化振興への貢献 高齢者の健康・活力、子どもと青少年の健全育成、スポーツファンの増加を目指す。 基本方針2：地域社会への貢献 本施設が拠点となって地域コミュニティを活性化し、地域社会を元気にする。 基本方針3：安心・安全への貢献 施設の安全確保・防災活動・お客様サービスの提供・公平平等な施設利用の推進で、利用者に安心・安全を提供する。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
人的基盤1：豊富な経験と専門チーム 本施設は平成21年から現在まで拝命、「桃園」「ひびきコスモス」など本市の指定管理経験も豊富。専門チーム「指定管理課」を発足し、管理体制は万全。「北九州スポーツクラブ連絡会」を引き続き運営組織に迎え、スポーツ振興ノウハウを有する。 人的基盤2：「地元企業」で一体運営 当社は八幡に本社、施設と一体運営が可能。市庁舎にも近く、本市との連携もスムーズ。「桃園」「ひびきコスモス」とも連携し、本施設近隣には当社従業員が多数勤務しているため即時応援も可能。 財政基盤：37年間黒字継続、安定した収益構造 西日本鉄道の100%子会社で、37年間黒字を継続。自社不動産からの収入で経営安定。環境・ビルメンテナンスなど拡大も期待。資本金4.8億円、前年度売上高59億円。
(3) 実績や経験など
実績1：的場池公園内施設での実績 ① 体育館個人利用増：平日空き時間にスポーツ団体の利用を誘致、個人利用者2千人近く増。 ② 会議室・視聴覚音楽室利用増：H25年10月：68回 → 平成30年10月：76回 ③ その他の実績：子どもスポーツ教室実施、コミュニティスペース設置、プロ野球自主トレ等 実績2：本施設以外の指定管理者実績 「桃園球場等6スポーツ施設（H18～現在）」でH27年度A評価を獲得、ほか「ひびきコスモス運動場等4スポーツ施設（H22～現在）」「鞍手町大谷自然公園（H22～H27休止まで）」 実績3：スポーツ振興実績 本市ほか飯塚市・宮若市など、福岡県下多数自治体で各種スポーツ・健康づくり教室を受託。「岡垣サンリーアイ」など財団法人や、病院・大学などと共同でスポーツ振興活動を実施。 実績4：施設管理・環境管理実績 本市「エコタウンセンター」「八幡東田地区ビル群」や、新日鉄住金・三菱化学など大企業などあらゆる建築物で施設・環境管理の実績を有する。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
事業計画 ：当社取り組みの第1期「高齢者スポーツ活動の推進」第2期「青少年の体力増強・スポーツ参加率の向上」を継続展開しつつ、第3期では「利用者・地域の交流」をテーマに事業を展開。

- ①中・高齢層のスポーツ推進、生きがいつくりのために「スポーツ&健康フェスタ（仮称）」、心の健康講座などを新設。
- ②子ども・青少年のスポーツ参加・健全育成のために「小学生向け教室」「親子のための教室」を新設、ボランティア活動を促進。
- ③利用者・地域の交流のために、「コミュニティスペース」リニューアル、地域活動の発表の場を新設。
- ④安心・安全のために、「風水害・震災・その他災害等対応マニュアル」を活用、「災害対応自動販売機」を設置。

	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
入場者数	151,000人	152,000人	153,000人	154,000人	155,000人

- 政策支援：**①北九州市スポーツ振興計画 ②高齢者の長寿・健康 ③子どもプランなど。
- 利用拡大：**①利用増は高齢者事業発展、ジュニアスポーツ発展、文化施設としての利用促進、弓道利用促進。
②利便性向上は利用時間延長、施設の交流・情報発信機能強化。
- 施設連携：**共同体でなく「スピナ1社」で管理する利点を、情報共有・資材融通・同時イベントなどで活用。
- 営業広報：**地元のネットワークと西鉄グループのネットワークを活用。

（２）利用者の満足度

- 利用者満足：**個人の利用時間確保、CS活動の推進
- 意見把握と反映：**「ご意見箱」の活用、ホームページの活用、「連絡協議会」による意見交換で把握。意見情報は施設長に集約のうえ迅速に対応。これらをスピナ全社で共有し、サービス向上に努める。
- 苦情対策：**接客サービス教育、「苦情対応フロー」の整備運用、クレーム報告会での共有・予防のPDCA。
- 情報提供：**①利用者には施設開放予定表を配布、広範囲にHPで情報提供、地域に教室情報を発信。
②本施設以外の市内大会・イベント情報も、本市スポーツ発展のために施設で提供。
③交通機関情報掲示、スポーツ・健康関連ライブラリ拡充、熱中症情報、市政情報、地域情報など。
- その他サービス：**専門知識所有者配属で安全確保、多業種企業の利点を活かした各種サービス、当社の「互換パトロール」制度の活用による内部チェックでサービスレベル維持・向上。

【効率性】に関する取組み

（１）指定管理料及び収入

- 費用削減：**①距離の近さと「臨時案件対応班」を活かした綿密な人員配置
②多業種企業の利点を活かした「自社施工」「消耗品大量購入」、「予防保全」による施設の長寿命化。
③「業務改善提案制度」の活用。
- 収入確保：**①施設スケジュールと利用者調整で収入増、自主事業を通じた本施設リピーターの確保で利用者増。
②教室自主事業は「収入＝支出」が基本、自販機事業の収益は無料イベントに活用。

（２）収支計画の妥当性及び実現可能性

- 積算根拠：**2期10年にわたる「運営実績」、そして数多くの集客施設・スポーツ施設の管理経験から確固たる積算により、必要最低限の収支計画であると自負。

【適正性】に関する取組み

（１）管理運営体制など

- 管理体制、配置：**2期10年の実績、市内施設の職員プールによるバックアップ。
- 資質・能力向上：**「接客」「救護」「運動指導」「建築物環境」など各種教育を自前で実施、指導者が自社・協力団体所属なので成果を直接確認することが可能。
- 地域連携：**①北九州ハイツとの連携 ②地域自治会との連携
③「パトランキタキュー」のボランティア支援 ④近隣大学との協働。

（２）平等利用、安全対策、危機管理体制など

- 個人情報：**「個人情報の保護に関する法律」及び「北九州市個人情報保護条例」を遵守、PC利用時の適切管理。

平等利用：①障害者への適切配慮のために教育研修実施しバックアップ体制確立。北九州市障害者スポーツ協会のアドバイスを活用、車いすでも使える「ユニバーサル自販機」の継続導入など環境づくり。
 ②利用者の幅広い声を聴き平等利用確保、利用調整に偏りないよう公平に配慮、職員に平等を徹底。

安全対策：①綿密な点検による事故防止活動、熱中症対策や作業標準遵守による人的被害防止。
 ②事故災害発生時の連絡体制と、自社応急手当普及員による定期的な救命講習で体制維持。

災害対応：①当社「風水害・震災・その他災害等対応マニュアル」を活用、防災・救護訓練の定期実施。
 ②新規に「災害対応自販機」を導入。
 ③商品調達力で災害時に資材・物資で支援。

提案額（千円）

平成31年度	38,175千円
平成32年度	38,175千円
平成33年度	38,175千円
平成34年度	38,175千円
平成35年度	38,175千円